

緑陰漢詩

秋元光博

称府知事賞受賞

三余無念道芸煌

上作鴻遊知事彰

真正私伝津軽趣

智子恢拳慶同郷

府知事賞の受賞を称つ

三余念ること無く道芸煌く

上作鴻遊す 知事の彰

真正私かに伝つ津軽の趣

智子の恢拳同郷を慶はす

大秦東映画村の中村座に於いて、京都ふるさと連、ファミリー演芸大会が催されたときのことである。青森真人会からは三上直智子が、舞踊の部に出演した。本格的に日本舞踊を習っている人たちの出場が多かったが、三上さんは津軽よ

されの手踊りが主体、その演技たるや実に堂々として悠々たるもの。小柄な軀が精一杯両手を拡げ、リズムカルに飛翔している。

小道具の傘と扇子が効果的に演技をさらに大きく見せ、舞台が狭く感じられた。何よりも「ふるさと……」の催しに最も相応しい演題、内容で且つすこぶる付きの熱演であった。

知事賞受賞は県人会としては、初めての快拳、「ケッパレー」「ケッパレー」と大口をあけて声援を送っていたジョッパリ衆も、表彰の発表を聞いて狂気乱舞した。

三上さんは三味線のお師匠で舞踊をたしなみ、唄もつまいと聞いて認識を新たに、驚いた。

知事賞受賞ということは、如何に「ふるさと連」の催しとは言っても、容易なことではない。ありし日に憶いを馳せ、「ここに一詩（芳名入り七絶）を呈して、心底より祝意を表す。

秋季号（9月）の募集要項

締め切りは9月3日

新しい第1号となる601号になります。今後よろしく。

医家随想 特集「医家芸術と私」、「医者としての喜びや悲しみ（喜怒哀楽）」を延長します。ふるってご応募ください。

普段通りのエッセイも受け付けます。

詩歌 評論もどうぞ。医芸俳壇歌壇、柳壇はいつものように5句5首です。

……
春季号の訂正 文芸特集号又同評会
45頁下段2行目 人口呼吸 人工呼吸 医芸歌壇61頁下段 横田先生
の2首目 錨まつり 鍋まつり
お詫びして訂正します。